

2012

## M2 カリキュラム

医療概論 II

「在宅ケア」

シラバス

平成 24 年 6 月 18 日～平成 24 年 6 月 22 日

2011 年度入学 第 38 回生用

2012 年編入学 編入学 12 回生用

## 医療概論Ⅱ 在宅ケア・キャリアパス

Coordinator 前野哲博

Sub-coordinator 木澤義之、高屋敷明由美  
瀬尾恵美子

開講時期:M2 1 学期 6 月 18 日～6 月 22 日

### 1. コースの概要

#### A 在宅ケア

今後、医療者として患者を支援する上で重要な「生活の場における医療の実際：在宅ケア」を学ぶために、在宅ケアを受ける患者とその家族の生活を知り、医療関係スタッフが本人の気持ちにどのように配慮しながらどのように患者の生活をサポートしているのかなどについて、実際の症例を通じて考え、討論する。

#### B 医師のキャリア

将来の医師となる上でのキャリアビジョンに役立てるために、医師のプロフェッショナリズムについて理解し、その上で医師のワークライフバランスのとりかたを考える。

### 2. 個別学習目標(コースにおいて学んで欲しいこと)

#### A

- 1) 在宅療養する患者や家族の気持ちを知る
- 2) 在宅療養する患者の実際の生活を知る
- 3) 在宅療養する患者に対する具体的な介護サービスを説明できる
- 4) 介護保険制度におけるケアマネージャーの役割を説明できる
- 5) 在宅ケアに関わる様々な職種の役割を説明できる
- 6) 在宅ケアにおける医師(主治医)の役割を説明できる

#### B

- 1) 将来の医師のキャリアビジョンに役立てるために先輩医師のワークライフバランスのとりかた、考え方に触れる。
- 2) 医師のプロフェッショナリズムの構成を学び、今後、医学生として自分のあるべき姿、とるべき行動規範を自覚する

### 3. リソースパーソン

自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。

#### 教員名

前野哲博(総合診療科、総合臨床教育センター 教授) :

高屋敷明由美(総合診療科、医学教育企画評価室 講師) :

小曾根早知子(いばらき地域医療研修ステーション指導医) :

### 4. 学習の進め方

#### オリエンテーション

医学類のカリキュラムにおける医療概論Ⅱ全体の位置づけ、医療概論Ⅱのねらい、進め方、評価などをお話します。

#### **A 在宅ケア**(6 月 18 日 14 時 00 分～)

今回の事例提示などの進め方は、医学の基礎コースとは異なります。

- ・ 18 日コアタイム 1 の前に教室でケース紹介があります。
- ・ シナリオに追加してケースについて更に知りたいことが有れば 19 日の 2・3 時限に実際の主治医に聞くことができます。
- ・ 21 日の全体発表は、14 時から 3 教室にわかれて行い、終了後 1 教室に集まり、主治医からのまとめの講義を行います。

## 症例例示（6月18日 オリエンテーションの後に実施）

小曾根早知子先生（いばらき地域医療研修ステーション医師）より、ケースの紹介があります。

## コアタイム1（6月18日 5時限）

各グループで、オリエンテーションの指示に従い討論をして下さい。

## コアタイム1終了後（6月18日 16時30分～）

コアタイム1終了時に配布された資料に基づき、ケースに関してシナリオの患者さん・家族へどのようなサポートをするかについて討論を進めて下さい。シナリオの患者さんにサポートをするために、どんな情報（患者さんに関する情報、地域の医療保健福祉に関するリソースなど）が必要か、討論を進めて下さい。翌日の質問タイムで担当医に聞きたいことを質問項目リストに記し、18日17時30分までに高屋敷明由美のメールボックス（学系棟3階ラウンジ）に提出してください。

\*質問はケースに関すること（患者さんや家族に関すること、または医療チーム・他の介護福祉スタッフのこと）に限ります。介護保険制度など一般的な項目は自習して下さい。

## ケースに関する質疑応答（6月19日2・3時限 各テュートリアル室）

各グループ10分間ずつ担当医：小曾根先生にケースに関する質問ができます。各グループの質問予定時刻は下記の通りですが、多少前後することがあります。メンバー全員で各テュートリアル部屋で待機して下さい。

10時15分～10時25分	13グループ
10時25分～10時35分	12グループ
（中略）	
11時15分～11時25分	7グループ
（昼休み）	
12時15分～12時25分	6グループ
（中略）	
13時10分～13時15分	1グループ

## 講義1（6月19日4時限） 前野 哲博

プライマリ・ケアとは：地域医療の現場で活躍する医師の専門性や必要な臨床能力についてお話します

## コアタイム2（6月19日5時限）

まず、コアタイム1以降のグループ学習や自習の結果を、ケースに関する質疑応答で得た情報も含めて、5分程度で代表者がテューターにプレゼンテーションして下さい。

その後、各自が勉強した事や担当医：石丸先生に得たケースに関する情報を元に、どんなサポートができるか、討論を進めて下さい。「コアタイム2提出シート」に討論の概要を記入して高屋敷明由美のメールボックスまで提出してください。

更に知りたい情報が生じた場合には、20日16時まで担当医：小曾根先生にメールで質問できます。

## 講義2（6月20日2時限） 木澤 義之

超高齢社会を迎えた日本の高齢者医療の現状について、国民の期待と国の方針について共有し、医療者に求められることを考えていただきます。

## 講義3（6月20日3時限） 前野 哲博

地域医療の現状と課題： 地域医療現場における医師不足の実態、その背景にある社会の問題点と対策について、一緒に考えていただきます。

## グループ学習（6月20日4・5時限）

コアタイム2で提示された課題に従い、グループの発表に向けての討論を行ってください。各グループの個性が出ている発表を期待します（発表の予行を行い、必ず9分以内でプレゼンテーションできるように練習してください）。

## 全体発表会

6月21日 14時00分～15時15分

場所：臨床講義室 A (1～5 グループ)、臨床講義室 B (6～9 グループ)、学群棟 2 階 203 (10～13 グループ)

発表9分質疑応答3分です。

グループ討論で解決しなかった疑問については、質疑応答の時間をとります。

総括 15時15分～15時45分 場所：臨床講義室 A

## **B 医師のキャリア**

6月22日 3～4時限 医師のプロフェッショナルリズム (関西医科大学 河本慶子) 臨床講義室 C  
医師に期待されるプロフェッショナルリズムについて、考え討論しましょう。

6月22日 5時限 医師のワークライフバランス (瀬尾恵美子) 臨床講義室 C

医師のパーソナルライフ、ワークライフバランスについて、3人の先輩医師から実際の生活について話を聞き、自分の将来について考えてみましょう。

## 5. 参考資料

みんなのあんしん介護保険

## 6. 成績評価

レポート (後述) 提出状況、内容→締め切り日に提出のない場合にはD判定とします

チューターによる評価表

コアタイム 1～2 提出シート

グループ発表

自己評価表 により評価します。

## **\* レポートについて**

**下記A～Cを教務メールボックスに提出のこと**

**A 在宅ケア 締め切り:6月22日(金)12時**

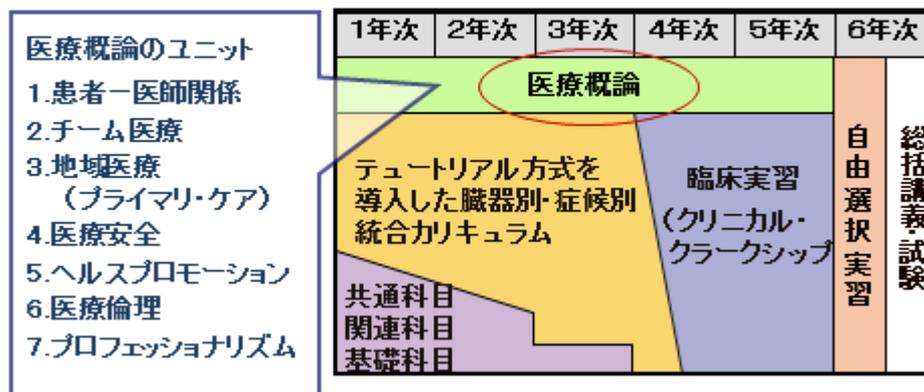
コアタイム・自習・グループ討論で学んだことの中から 1) 最も印象に残ったこと および 2) 将来自分が医師として働く時に、こころがけたいと考えることの 2 点について、ワープロソフトを用い、10.5 フォントでA4用紙2～3枚で記入。

**B 医師のキャリア**

医師のプロフェッショナルリズムおよび医師のワークライフバランスそれぞれについて、当日ワークシートを配布します。用紙上にある指示に従って記入し、講義後に教室内の回収箱に提出のこと。

補足(医療概論について)

## 医療概論の構成



### 7. 講義一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	プライマリ・ケアとは	柳沢正史	総合診療、家庭医療、全人的医療
2	高齢者の在宅ケア	木澤義之	
3	地域医療の現状と課題	前野哲博	地域医療 医師不足
4	医師のプロフェッショナリズム	河本慶子 (関西医大)	プロフェッショナリズム

### 8. 時間割

	月	火	水	木	金
	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日
1	総合科目 I/総合科目 II	関連科目	第1外国語	関連科目(専門外国語)	関連科目(専門外国語)
2	総合科目 I/総合科目 II	質問タイム ( )	高齢者の在宅ケア (木澤)	体育実技	レポート作成
3		質問タイム ( )	地域医療の現状と課題 (前野(哲))		医師のプロフェッショナリズム
4	14:00~医療概論IIオリエンテーション事例提示 (高屋敷(明))	プライマリ・ケアとは (前野(哲))	グループ学習	14:00~発表会・総括	[河本慶子(関西医科大)]
5	コアタイム1	コアタイム2	グループ学習	(コーディネーター)	医師のワークライフバランス 瀬尾(恵)

---

M2 カリキュラム  
医療概論Ⅱ「在宅ケア」  
シラバス

2011 年度入学 第 38 回生  
2012 年度 編入学 12 回生

2012 年発行  
〒305-8575  
筑波大学 医学群

---